

## 「猫の愛情表現」

我が家の猫が「リバティー」1匹になった。以前に比べると元気がないように感じられるが、遊び相手がいないのだから、それほど不自然なことではない。その分、今までよりも人間に甘えてくるように思う。

食卓の椅子に座っていると、頻繁に膝の上ののってくる。とくに夕食のときは、必ずというほど膝の上ののってくる。冬だから暖かい膝の上に来ると思われるのだが、実は、食卓にある食べ物を狙っている。私と妻を比べて、どちらかという隙のある私の膝にいた方がチャンスがあると思っているのか。猫の、人を見る目は確かだ。

以前から、我が家の猫は、私が猫の食事を用意するのだと認識している。そのため、朝、私を起こそうとする。リバティーだけになっても同じだ。最初は布団のそばを「ふみふみ」する。この動作は前足で足踏みをするような動作で、子猫が母猫の母乳を飲むときにする行動だという。母猫を思い出してするしぐさなので、お腹がすいていたり甘えたかったりするときの愛情表現の一つだ。ただ、リバティーは雄猫なので、かなり動作が荒っぽい。爪が引っ掛かり布団が破れるのではと思えるほど。それでも起きないと頭にふれてくる。爪が延びているようで、地肌に当たって痛い。普段でも私がキッチンに行くと、何かくれるのではないかと、私の方をじっと見つめ、近づいてくる。見つめる動作も、信頼が高まるほど多くなるという。

「まだだよ」と言っても見つめてくるので、仕方なく食べ物を与える。この人なら、甘えれば、食事をくれるものだと思っているようだ。ちょっとしつけに失敗した。

素っ気なかったり甘えたり、そんな気まぐれでマイペースなところも猫の魅力。ネット上に、猫が人間に甘えたい時の猫の愛情表現となるしぐさが紹介されていた。行動としては次の10の動作があるらしい。①頭や体をすりすりしてくる。②お腹を見せる。③ぺろぺろ舐める。④じっと見つめる。⑤前足でふみふみする。⑥頭突きしてくる。⑦甘噛みする。⑧帰宅時に出迎える。⑨一緒に寝たがる。⑩プレゼントを持ってくる。人間の親子の愛情表現とはちょっと違うようだ。

12月15日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 10点満点のテストを、あるクラスで実施しました。10点の生徒が1人、9点の生徒が5人、8点の生徒が8人、6点の生徒が4人、5点の生徒が4人、4点の生徒が1人で、残りの生徒は7点でした。平均点が7.2点のとき、7点をとった生徒は何人でしょうか。